回答

一、賃銀ノ定マラザル三名ノ職工ニ對シ賃金ヲ定ムル事

三、馬谷職長ヲ去ラシムル事

一、無労働時間ヲ一時間短縮スル事（目下十一時間労働ニシテ自今午前七時午後五時終業時間毎日給ノ一割五分ヲ支給スル事ニ致シ度）

一、年末ニ於テ年末賞與ヲ支給スル事（職工側ハ年末賞與ヲ支給スル事）

七、一年未満勤續者ニ退職當日給五十日ヲ支給スル事　然シテ一年以上ノ勤續者ハ一ヶ月増ス毎ニ日給四日分ヲ増ス事

職長排斥ノ件

右ニ対シ工場ハ一切ハ無條件ニテ要求ヲ容レタリ然シテ三ハ馬谷ヲ單ニ職工トシテ使用スル事、五ハ日給ノ割三分トスル事、六ハ暫ク考慮スベシ（然ル職工側ヲ事ニ付ニ敢テ強ル様ニ説明セリ）七ハ一年未満勤續者ニ対シテハ退職手當十日分支給スル事　然シテ一年以上勤續ノ者ハ十日分ノ外ニ包金ヲ支給スル事ト回答ヲ与ヘタルニ対シ職工側ハ不満ナリ

11.7-8 11.6 罷業

社会局ニ出

ト称シ六日遂ニ罷業セリ、七日八日ハ休業、七日夜ヨリ後藤田正毅（立憲労働党大阪造船組合）植松大阪鉄工組合幹部ノ両名此問題ニ対シテ職工側ニ應援シタルガ為ニ工場側ハ一年未満退職者ニ勤續者ニ退職手當日給十四日分ヲ支給スル事　然シテ一年以上ノモノハ六日給ノ十四日分以外ニ包金ヲ支給スル事ト声明セリ然ルニ職工側ハ承知セザルガ為ニ八日午後二時工場側ト日取后交渉ヲ為ベキ筈ナルモ多分今円満ニ解決ヲ見ルナラント予測サル。

因ニ同職工中ハ労働組合ニ加盟セルモノナキモ前記吉利公正宿ノ関係上多少植松ト懇意ナル為植松ハコノ問題ニ干與スルニ至レルナリ尚職長吉利ハ齢廿七ハ才ニテ技術ニ秀レタルモ統御ノ才ニ乏シト

以上